

ハマの情熱社長 vol.2



株式会社ユナイト

代表取締役 山田秀樹

をつき動かすものは何だったのだろう。

だって、みんな楽しく暮らしたいでしょ

現在はアパートなどを1棟購入し、家賃収入を得る収益用物件をメイン事業とする同社。なぜ、若くしてそのような事業に重点を置いたのか。山田社長はこう言う。

のギャグが混ざる。

ひとくちに「豊かに」と言ってもそう実現できるものでもない。自身が一番大事にしていることは何か一言で表現してほしい。そう伝えると、山田社長は表情も変えず、間髪入れずに突如鋭い目になりこんなことを言った。

「平常心ですよ」

見栄も張らず、余計な自意識はいらない。相手が本当に得をすることは何か。

それを考えるためには「冷静」でないといけない。なぜなら多くの現実的なこと、つまりは「相手が本当に求めていることは何か」をまっとうから考えなければならぬからだ。

お分かりいただけただろうか。紙面もそろそろ尽きるころだが、山田社長のこれからの展望を伺った。

横浜は可能性の宝庫だ

「横浜はいろんなことを受け入れ、変化する街ですよ

ね。そんな特性を生かし『劇団居酒屋』を作りたいんです。」

でた、鬼才…。でも、その真意はこうだ。

「みんな、好きなことをして、それでお金をもらっている瞬間が一番自分のことが好きでしょ。でも、役者さんたちはその機会が少ない。だったら、そういう場を作らなきゃ。自分にも知合いの役者さんがいてね…。」

話は続く。山田社長の熱意はこの紙面では語りきれない。だからこそ「ハマの情熱社長」なのだ。

写真を見て「ふざけているのか？」とお思いの方もいるかもしれない。確かに取材時の第一印象はそうだった。なぜなら「ハマの情熱社長」の企画で「このポーズはない」、そう思ったからだ。しかし、彼は決して「ふざけているのではない」。

誰もがそう確信すると思う。山田社長と話をすれば、恐ろしいほどに引き込まれる。なぜだろうか。それは、彼の異常に鋭い感覚、そして同時に「現実」も冷静に捉えており、その恐ろしいバランス感覚が凡人のレベルを超えているからだ。

「不動産業界の鬼才」山田

山田秀樹、53歳。横浜市

生まれ、施工業を営む父を持つ。父の背中を見て育った山田社長は高校卒業後、自然に不動産業の世界に入った。営業職を経験し、若干20歳で保土ヶ谷区にて売買の不動産仲介業を自ら開始。24歳で「株式会社ユナイト」と命名し、六角橋に事務所を移転。「人と人の縁を結ぶからユナイトなんだ」と鷹揚に笑う山田社長の目尻には、その縁によつて生まれた数々の感謝の言葉が刻まれるように見受けられる。

「はじめは4坪の事務所ですね。信用は簡単に得られるもんじやないって分かったね」。20代にして収益用物件の売買仲介のビジネスを始めようとした山田社長

当たり前のことを当たり前にする。どんな時でも平常心を忘れない。

それが「本気」でお客様のことを考える、ということ

それは、顧客に対してだけではない。従業員にも同様の思いがある。関わった人みんなに豊かで有意義で楽しい暮らしをしてほしいんだ。自分だけのことを考えず、いかに人のためを考えるか、そうしたことで自分にもいいことがあると思つてほしい。常に相手の立場になるよう、自分にも社員にもよく言い聞かせていますよ」

豪胆に笑う社長。時に謎



株式会社ユナイト
http://www.unite-corp.com
045-402-6633

〒221-0076横浜市神奈川区白幡町8-4
営業時間 10:00~20:00 定休日 毎週水曜日(祝祭日を除く)
(社)全国宅地建物取引業保証協会 (社)神奈川県宅地建物取引業協会
宅地建物取引業 神奈川県知事免許(第)13323号